



いよいよ各学部の修学旅行が実施される10月になりました。先日、修学旅行前の検診も無事に終わりました。元気に出発できるように体調管理をお願いします。また、修学旅行に参加しないみなさんも校外学習やスポーツ大会があります。

朝夕は急に涼しくなり日中との気温差が大きくなって体調を崩しやすい時期です。体調管理に気をつけて、元気にこの秋を過ごしましょう。



気をつけよう 目の感染症

近年、校内でも数名が感染する目の感染症。幸い集団感染はありませんでしたが、感染しやすい疾患もあります。今回は、代表的な目の感染症を三つ挙げました。ご家庭でも、日ごろから目の観察をお願いします。

	流行性角結膜炎(はやり目)	咽頭結膜熱(プール熱)	急性出血性結膜炎
特徴	ウイルス性の角膜炎と結膜炎が合併。感染力が極めて強い。接触感染	発熱、結膜炎、咽頭炎を主症状とする。飛沫、接触感染、夏季に多く幼児から学童に好発	結膜に出血を起こす。接触感染
原因	アデノウイルス8型(19型)	主にアデノウイルス3型	エンテロウイルス70型
潜伏期	2～14日	2～14日	1日前後
症状	眼脂、涙目、結膜の充血と浮腫、まぶたの発赤と腫脹、角膜の充血、眼瞼結膜の充血、発熱を伴うことも	眼脂、涙目、まぶしがる、結膜の充血と浮腫、まぶたの発赤、咳や鼻水などの風邪症状、38～40℃の熱	目の強い違和感と痛み 結膜下の出血
登校	医師による判断	主要症状の消失後2日経過後	医師による判断

汚れた手で、目をこすらないで!



まぶたのできものいろいろ (周囲の人にはうつりません)

●麦粒腫(ばくりゅうしゅ)

麦粒腫は、「ものもらい」「めばちこ」と呼ばれ、日本各地で方言病名を持っています。子どもによく見られる細菌感染によって起きる病気です。

まぶたの縁が赤く腫れあがり、痛みと眼脂を伴います。大人もなります。疲れたり、抵抗力が落ちている時に悪化する傾向があり、治療は、抗生剤の点眼や内服、膿がたまっている時は切開して排膿を行います。

●霰粒腫(さんりゅうしゅ)

まぶたの縁にできるコロコロしたしこりのようなできもので、分泌物が溜まって肉芽腫を形成したものです。しばしば細菌感染を併発し赤く腫れあがって痛むことがあり、麦粒腫と区別がつかなくなります。

10月の保健行事

- 15(火) 小学部 身体計測
- 17(木) 中・高等部身体計測
- 24(水) 生徒保健委員会
- 28(月) 安藤先生の健康相談

スクールカウンセラー来校日

10月8日(火) 13:00~

相談を希望される方は保健室まで



★RSウイルスの特徴

秋から冬を中心に流行し、主に乳児で重症化する。再感染を繰り返すが、初感染時の症状が重い。症状は発熱、鼻水、咳、喘鳴。年長児や成人では軽いかぜ症状で済む場合が多いが、新生児、乳児が感染した場合は、呼吸困難になる場合もあるので、小さいお子さんがいる家庭は、特に注意が必要。

学校保健委員会報告 その1

9月26日に学校保健委員会が開催されました。学校医の先生方から指導していただいたことを何回かに分けて報告します。

ぜひ参考にしてください。



【安藤小児科医より】

・風疹はこの2年で流行している。風疹対策としては予防接種が重要となる。しかし昭和37年度~昭和53年度生まれの男性は、公的に予防接種が行われていない。現在、上記の男性は各自治体から、原則無料で風疹の抗体検査と予防接種を受けられるクーポン券が送られている。ぜひその制度を活用してほしい。(昭和37年4月2日~昭和47年4月1日生まれの男性は、来年度以降の配付)

なぜ、風疹対策が重要かということ、妊婦が感染した場合に胎児が先天性風疹症候群にかかる可能性がある。知らないうちに感染源になってしまわないために、この制度を活用してほしい。

保健室からのおしらせ

災害予備薬の入れ替えの時期です。

薬を預けている方は、10月末までに新しい薬の提出をお願いします。



最新 香川県感染症情報 (9月27日発表)

- 1位 RSウイルス感染症・・・県全体で増加している。東讃・西讃地区で特に増加している。
- 2位 感染性胃腸炎(ウイルス)・・・県全体で増加。高松市で特に増加している。
- 3位 手足口病・・・県全体で減少。高松市、西讃地区は減少したが警報値は超えている。

校内でも、9月下旬からRSウイルス感染症が発生しています。予防の基本はどれも手洗いと咳エチケットです。石けんと流水による手洗いを心がけて、感染を予防しましょう。